



地域の中で光る、中高生の活躍

—「なにかに挑戦してみたい」を支え、つなぐ公民館—

繁多川公民館は、中高生の地域での活動を応援しています。「繁多川公民館おたすけ隊」というボランティアのプログラムを実施して公民館の事業や地域でさまざまな活躍の機会をつくっています。自治会等からボランティアの手が欲しいという要望があればおたすけ隊を派遣したり、学校と地域の連携をコーディネートしています。

おたすけ隊として活躍中の 中高生にインタビュー！

中学生
の声



那覇市立寄宮中学校
3年 高山 咲輝

何かに挑戦してみたくて応募し、今年度で2年目になります。公民館だけの活動ではなく、自治会共催の活動もあり挑戦する気持ちを持ちながら色々な経験をすることができました。様々な性格の人たちや多世代の方々とコミュニケーションを取る活動が多く、次回の募集の連絡が来るのが楽しみです。高校に行っても色々な事に挑戦しながらおたすけ隊の活動もできたらいいなと思っています。



高校生
の声



兄がおたすけ隊として活動しているのを見て興味を持ち、登録してみました。初めて参加した活動は「はんだたがわプレーパーク」で、子どもたちと一緒にシャボン玉で泡まみれになりながら、黒い洋服が白く変わってしまうくらい全力で遊んでいます。私より歳が下の子と遊ぶ機会がないので、楽しい時間を過ごしています。今後も色々な体験ができるよう参加していきたいです。

沖縄県立真和志高等学校
1年 石橋 明日翔

ボランティア活動で単位認定！ 真和志高校の取り組み

沖縄県立真和志高等学校ではR6年度7月から繁多川公民館でのボランティア活動が、学校の単位（授業の一環）として認められる取り組みが始まりました。校長先生からその意義と可能性について伺いました。

沖縄県立真和志高等学校
校長 屋宜 宣安



学校
の声

全国的にも中高生の学ぶ意欲の低下が指摘されています。そのような中、赴任校での経験から学びが何の役に立つのかを考え続けてきました。将来の世界の見通しが見えないことが、自分が生きるための意欲につながらないのではないか。だとすれば学校だけでは完結することはできない。公民館のようないろんな人の中で成長していく環境をつくることで、学び対応する力を養うとともに、企業や地域を支える担い手にもなります。今回の公民館での単位認定も、個々の能力と適性を活かした学びの選択肢や学べる場所を増やすことにつながります。自ら学ぶ力を高めることができれば高校生活のみならず生涯にわたって学び続ける基盤となると考えています。

沖縄工業高校生が高齢者のお手伝い！ 松川共同住宅おたすけ隊

自治会からの要望を受けて公民館がコーディネートしている、沖生による高齢者のボランティア活動。月1回、1時間、元気な高校生たちが住人のみなさんのリクエストに応じて、草刈りや家具の搬出などいろいろな作業をしています。



粗大ゴミの家具を
依頼者の自宅から
搬出しています！



高齢者を狙った詐欺の
注意喚起のチラシ
などを、一軒一軒訪問
しながらお渡しし
ました。

沖縄県立沖縄工業高等学校
教頭 平良 みどり

学校
の声

沖縄県立沖縄工業高校は、昭和27年に松川へ移転し、今年で72年になります。松川共同住宅でのボランティア活動は、昨年末から始まりましたが、学校から近く、月に1回短時間の活動であるため、気負わずボランティアができるということで、興味のある生徒にとっても活躍の場となっています。また、自身ができることをとおして人から感謝され、喜びを感じる機会となっており、中には何度も参加している生徒もいます。今後も、地域との関わりをとおして、社会に貢献できる生徒の育成につなげていけたらと思います。

松川共同住宅自治会
会長 祖慶 和明

自治会
の声

築55年を超える松川共同住宅では、住人の高齢化や孤立が課題となっています。自宅の様様替えや粗大ゴミを出すのもままならず困っている方が多いのです。お隣の沖縄工業高校にボランティア派遣を相談したところ、毎月1回20名ほどのボランティアが来て様々なお手伝いをしてくれるので本当に助かっています。孫ぐらいの若い子たちとお話できるだけでも元気が出るとみなさん喜んでますし、見守り活動、詐欺や熱中症の注意喚起にも一役買ってくれています。自治会に加入していない方へも自治会の魅力をアピールできる取り組みになっています。



祖慶会長（奥左から3番目）と住人のみなさん

キャリア教育「中学校と公民館」

繁多川公民館では近隣の学校の総合学習や平和学習のコーディネート事業を行っています。今回は中学校での取り組みを紹介します。



松城中学校



1年生の総合学習では、「地域のために僕たちができること」をテーマに地域の自治会や包括支援センター、公民館、クリニックなど6団体から地域の現状や課題を聞き、聞いたことをもとにさらに調べ学習を行い、地域の課題解決に向けて動いています。講話を聞くだけでなく、現地を訪れインタビューなども行っています。12月頃には発表会が予定されています。

その他にも、石田中学校の平和学習や1学年の企業人講話など年間を通して様々なコーディネート事業を行っています。地域の皆さんにもお声掛けさせて頂く機会があるかもしれません。その時はぜひ、ご協力をお願い致します。

石田中学校



2年生の総合学習では、「地域の歴史や文化を学ぶ」をテーマに地域の調べ学習を行いました。上間、識名、真地、繁多川の4地区に分かれ、自治会講話や地域まーいなどを行い、地域についてより深く知ることができました。最後には、講話をしていただいた自治会の皆さんをお呼びし、各地区の代表が学んだことの発表会を行いました。

寄宮中学校



1年生の総合学習では、12名の社会人の皆さんをお呼びし仕事のことや学生時代のこと、なぜその仕事を選んだのかなどを講話して頂きました。生徒の皆さんは自分の興味のある職種の方のお話を聞き、将来の進路や仕事について考える機会となりました。

地域の news & 公民館の news



6/12

公民館広場のアカギの木、元気になって！！

木の上にヤギがいると話題になったアカギの木は、実は枯れかけていることが分かりました。樹木医の樋口さんに診ていただくと、ヨコバイという虫にやられて弱っているそうです。虫に負けない元気を取り戻してもらえるようにと、樋口先生指導の下、木の周りに80cmほどの深い穴を掘り、肥料と空気の通る道を作りました。作業には地域の方が大勢参加してくれました。



7/20

古島自治会ふれあいキャラバン in 大神公園！

「ふれあいキャラバン」が古島自治会にある大神公園で行われました。ビブリオサポートいずみによるブックシェア、包括支援センター松島によるパッチワークづくり、繁多川公民館によるプレーパークなどが行われ沢山の人で盛り上がりしました。ボランティアとして地元の中学生も参加し、地域が繋がるイベントになりました。(古島自治会 会長 西平 博人)



7/29

識名小先生たちが 識名まーい

昨年に引き続き、今年度も識名小の先生方が地域を知る研修の一環で識名まーいを行いました。案内は識名自治会の玉城会長です。地域で大切にされている御嶽や琉球王朝時代にゆかりのある史跡などを巡り、先生方も初めて訪れる場所の説明に真剣に耳を傾けていました。暑い中お疲れ様でした！



8/4

初心者 AI 講座「AIの魔法を体験しよう！」

スマホにも搭載されるなど、身近になってきた生成 AI ですが、自分で使うのはちょっと勇気がいるという方むけに、体験しながら学べるワークショップを開催しました。イメージワードを AI に伝えて画像や歌詞、音楽を生成し、最後はひとりずつミュージックビデオを制作しました。AI の魔法であつという間に完成した映像は、ロビーで上映しました。



8/4

識名の伝統を引き継ぐ「綱挽き」

古来より藁綱から大綱を作り上げる習わしで、2週間前から補修準備万端。東西の道じゅねーが終わり、東の雄綱・西の雌綱にカヌチ棒が入ると同時に綱挽きスタート！チムワサワサーする瞬間だ!! 旗頭のガーイー、ドラが興奮を増長しアドレナリン全開で勝敗に一喜一憂する夏！(識名自治会会長 玉城 正也)



8/13

プチ避難所体験 in 識名小学校

「夏の避難所はどれくらい暑いのか」を体験するため、幼児から高齢者、学校関係者、防災危機管理課の方が体育館に集まりました。今回は倉庫から TENT を運び、自分たちで組み立てました。TENT の中でほんの数分過ごすだけでも汗だくになり、暑さ対策の必要性を感じました。また、防災危機管理課の方からトイレの備蓄が大切で、1日当たり1人5回分必要とのお話がありました。

繁多川公民館の子どもの居場所通信

繁多川公民館の子どもの居場所での子どもたちの様子や取り組みなどについてお伝えします。

資金造成中です



居場所を利用している子どもたちは、10月に徳島県牟岐町へ修学旅行に行きます。そこで、この機会に居場所の活動資金や修学旅行で使うお金を自分たちで増やそうと、資金造成を始めました。地域の方のご協力により、畑の野菜や果物を収穫させていただき、それらを選別・袋詰めして販売しました。また、長堂豆腐店のおからを使ったおからクッキーを作り、地域のイベントで販売も行いました。子どもたちが目標額に向かって一生懸命アイデアを出しながら頑張っていますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

音楽ワークショップ



プロの演奏家が集まる「(一社)楽友協会おきなわ」では、文化庁の事業の一環として、子どもたちと一緒に音楽を楽しむワークショップを実施しています。今回は、継続してワークショップを行なっている中高生の居場所「kukulu」へお邪魔し、見学 & 体験に行ってきました。初めての場所に緊張気味の子どもたちでしたが、普段はあまり触れる機会のない楽器に興味を持つ子もいました。ワークショップに参加した子どもは、プロの演奏家から直接教えてもらい、少しだけ弾くことができたので嬉しそうな様子でした。今後も、音楽を通じた様々な活動を継続・チャレンジできたらと思います。

開所日：平日9時～17時(月に2回程度夜の居場所あり)
内容：ごはん作り、公民館や地域活動への参加、学習サポートなど
※那覇市保護管理課「公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所」として運営しています。
※利用については、右の専用LINEよりお問合せください。



8/3 繁多川・真地の戦跡巡り

6月に開催した戦跡巡りを反響が大きかったため、再度開催しました！地域の歴史や戦跡に詳しい柴田一郎さんが案内を務めてくださり、平和について思いを馳せる機会となりました。識名宮の御神体があり、住民が避難したシキナグウヌガマ、県庁警察部壕として機能したシッポウジヌガマを巡りました。



8/25 雨二モ負ケズ… ゆんたくはんたく市場

童夢認定こども園で「ゆんたくはんたく市場」が開催されました！昨年に引き続き、このイベントが子どもたちと地域の皆さんに楽しいひとときを提供しました。雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、サクソ演奏や子ども会、看護学生さんの出展などがあり、夏の思い出になりました。素晴らしい協力のおかげで、楽しい一日となったことでしょう！（包括 濱川尚志）



グローバル公民館

オンライン講座がスタートしました！



けん玉検定

アッサラーム・アライクム（こんにちは）

エジプトの夏は40度を超える日も多く、日本も暑いですがもっと暑い国ですね。

さて、繁多川公民館で行っているエジプト公民館とのオンライン講座がスタートしました。夏休みのイラスト教室とコラボした会では、イラスト教室に参加した子ども達がお題に沿った絵を描いてそれをエジプトの大学生に当ててもらおうゲームを行いました。ゲームを行いながら、「りんごはアラビア語でなんているの？」など質問する場面も見られました。

他にも、「けん玉検定会」を行いました。エジプト公民館では、けん玉を通して「協力し合うこと」「教え合うこと」などを学ぶ機会として「けん玉ワークショップ」を行っています。エジプトでは、けん玉の形が「アंक（古代エジプトで使用された「生命」あるいは「生きること」を意味する）」に似ていることから、エジプトのけん玉ワークショップでは、けん玉を通して人生を語る方もいます。今回の検定会は、けん玉協会の検定員の方をお呼びし、けん玉ワークショップの運営に携わっている4人のメンバーが集まりオンラインで検定を受けました。けん玉検定ベーシックに2人、メダルチャレンジに2人が合格しました。今後も定期的に検定会やけん玉協会の検定員の方をお呼びしてのオンラインけん玉ワークショップを開催していきます。

イラスト講座





繁多川すぐりむん File 67

なみひら もとしげ
波平 元維さん

繁多川旗ふやーすぐりむん

「すぐりむん」とは自分の知識・技能を学校や地域に還元している人のことです。



繁多川自治会の会長として活躍された波平さんは、2015年、地域の旗振り役としてすぐりむんに認定されました。会長を退いてからも、老人会や公民館のサークル活動、ご自身の戦争体験を子どもたちに語り継ぐ活動など、変わらずアクティブに動いていらっしゃいます。

そんな波平さんが、公民館で立ち上げた「繁多川島くとうば会」のサークルで琉歌を詠み始めて7年になり、詠んだ琉歌は175首にもなりました。内容は、繁多川のことや家族のこと、平和への想いをこめたものなど幅広く、波平さんらしいユーモアと温かいちむぐくるが込められた歌ばかりです。これらの琉歌を形に残したいと、地域の有志が協力して一冊の本「琉歌さんぼうむい」出版に至りました。公民館や繁多川図書館に置いてありますので、ぜひお手にとって読んでみてください。

公民館では本の完成にあわせて琉歌に親しめる展示をしていますので、そちらもあわせてご覧ください。



『琉歌さんぼうむい』
著者：波平 元維
B6判 / 108P
令和6年8月
15日発行



識名園友遊会
11月30日
開催予定！！



昨年度よりイベント開催復活となった「識名園友遊会」が11月30日（土）に開催予定となりました。

友遊会は今年度で26回目を迎えるイベントで、「真和志地域の誇りである世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として活用し、青少年団体等による伝統芸能の発表等で構成するイベントを通して真和志地域における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化および文化財保護の啓発を図ることを目的としていて、実行委員は真和志地域の自治会長が担っている会になります。

昨年度は、園内を会場とし、真和志地域の芸能や真和志地域の旗頭「真和志泰平」の演舞などで盛り上がり、また地域の高校生がボランティアとしてイベントを支えました。

今年度も地域が繋がるイベントになるよう企画しています。是非お楽しみください。

(お問い合わせ：那覇市繁多川公民館 西平 博人)

公民館からのお知らせ

繁多川公民館まつり

12月7日(土)

今年は繁多川自治会の「豆腐の月」とあわせて開催します！

つかっていない
ペンキ・チョーク
ゆずってください！

プレーパークで子どもたちがお絵かき、色ぬりをするのに使います。公民館窓口で受付しますのでお持ちください。

第54回

繁多川まつり

10月19日(土)

16:00~20:30

会場 石田中グラウンド

繁多川公民館ご利用ガイド

【施設利用】

- 研修室1 (320円/h) 15名程度の研修会、会議に利用可
- 研修室2 (240円/h) 10名程度の研修会、会議に利用可
- 実習室 (400円/h) 15名程度の料理実習、会議などの利用可
- 和室 (240円/h) 12名程度収容可、24畳
- ホール (930円/h) 50名程度の講演、発表会などに利用可

※夏期は別途冷房料がかかります。

※上記は通常料金です。

減免(半額/全額)手続きもありますので、スタッフにお問合せ下さい。

※ロビーにはテーブルと椅子があり、学習・ゆんたく・飲食・ボードゲーム(貸し出し有)等 随時ご利用いただけます。

【借用できるもの】

- もちつき道具(きね・うす)
- 展示用パネル
- プロジェクター
- スクリーン
- 会議用テーブル
- パイプ椅子 等 お気軽にご相談ください

【使用できるもの】

- コピー機(モノクロのみ) 1枚 10円
 - 印刷機(モノクロ/2色) マスター1枚 30円、インク代 100枚 40円
- ※大量印刷におすすめ ※用紙は持参してください

なはしはんたがわこうみんかん

那覇市繁多川公民館 HANTAGAWA Kouminkan

赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで、那覇市に在住、在学、在勤の方はどなたでも利用できます。サークル活動、お部屋の貸し出し、備品の貸し出し、ロビー利用、その他社会教育に関することはお気軽にご相談ください。放課後の居場所や憩いの場所としてもご利用ください。



【公式ホームページ】

沖縄県那覇市繁多川 4-1-38



開館時間：9:00~22:00 (窓口 月 - 金 9:00~17:00)

休館日：祝日・慰霊の日・年末年始

TEL:098-917-3448 FAX:098-835-4903

公民館からのお知らせや日々のニュースはSNSでチェックできます！



【Facebook】



【Instagram】



【LINE 友達登録】

<< アクセス >>

那覇バス5番・識名牧志線「繁多川」下車

14番・牧志開南循環線「繁多川」下車

※駐車場はありません